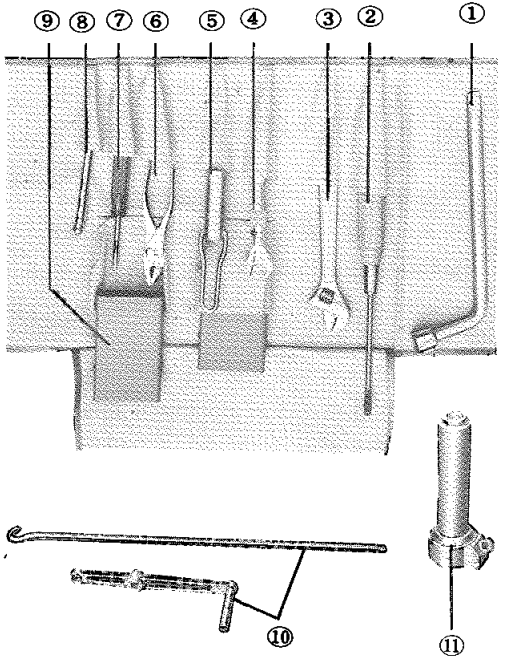
セルフ・サービスのしかた

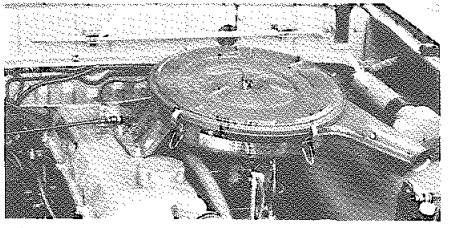
CORONA MARK II VAN・PICK-UP

工具とジャッキ



① ハブ・ナット・レンチ
② ⊖ドライバー
③ モンキー・レンチ
④ 組スパナ（8×9）
（10×12）
（12×14）
⑤ スパーク・プラグ・レンチ
⑥ プライヤー
⑦ ⊕⊖ドライバー
⑧ タイヤ・プレッシャー・ゲージ
⑨ 輪止め
⑩ ジャッキ・ハンドル
⑪ ジャッキ

■格納位置

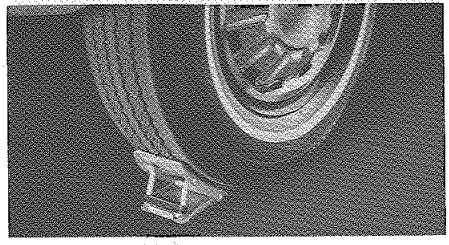


ジャッキはエンジン・ルームの中に格納されています。工具はシートの下に格納されています。

無断複製禁止

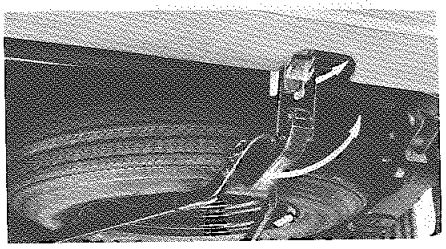
パンクの処置

1 ＝準　備

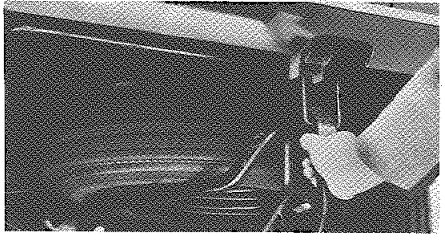


まず，同乗者や重い荷物などをおろします。次にジャッキ，ジャッキ・ハンドルおよび工具を取出し，しっかりと輪止めをしてください。

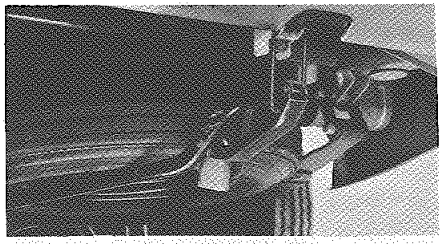
2 ＝スペア・タイヤ



ハンドルを起こしてフックからレバーをはずします。
スペア・タイヤ・キャリヤをそっとおろし，スペア・タイヤを取り出します。

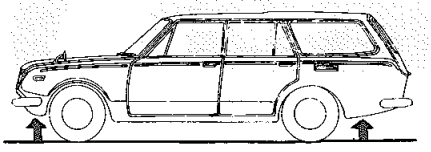


格納するときは，スペア・タイヤをキャリヤに乗せてもちあげ，フックをかけます。フックは標準タイヤの場合，上から二段目が基準です。次にハンドルの中央部をもっていっぱい前まで押し倒します。



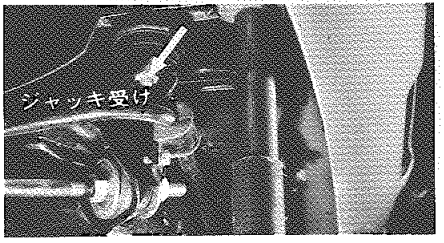
盗難防止のため，写真のように錠前等で施錠することもできます。
取り出したスペア・タイヤは，ジャッキがはずれたときの危険防止のため，パンクした車輪のボデーの下に置きます。

3 ＝ジャッキをセットする

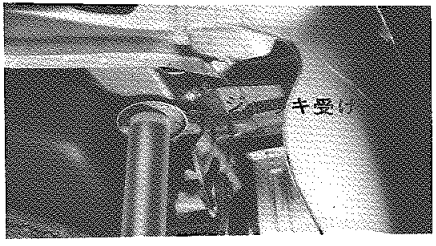


無断複製禁止

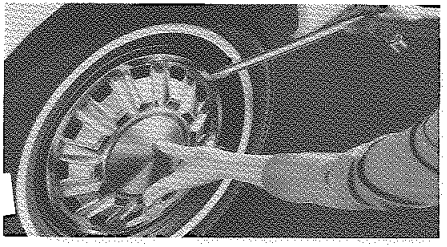
交換する車輪に近いサイド・メンバーにジャッキをセットします。
サイド・メンバーの前端にジャッキの受けがあります。



サイド・メンバーの後端にジャッキの受けがあります。

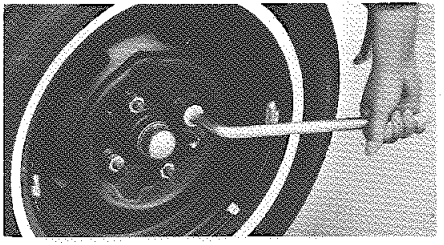


4 ＝ホイール・キャップをはずす



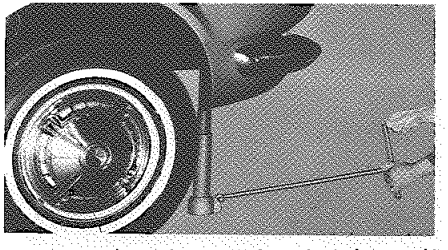
ドライバーまたは，ハブ・ナット・レンチのとがった方でこじてはずします。

5 ＝ナットをゆるめる



ハブ・ナット・レンチで4個ともゆるめます。〈ナットをはずすと危険〉

6 ＝ボデーをもちあげる



タイヤと地面が2㎝くらいあくまで，静かにジャッキ・ハンドルをまわす。
〈ボデーの下に入るのは危険〉

7 ＝車輪をとりかえる

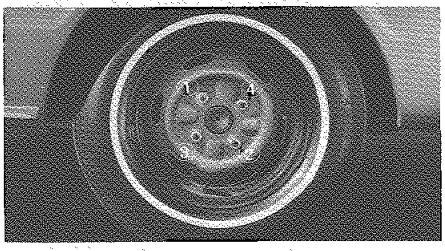
ナットをはずし，車輪を少しあげるようにしながらはずします。
スペア・タイヤをボデーの下から取り，その位置にはずした車輪をおきます。
〈ジャッキがはずれたときの危険防止〉
スペア・タイヤをはめ，ナットの平面の方を外側にして車輪にあたるまで締付けます。
ナットを座に落着かせるためにゆっくり

無断複製禁止

車輪をまわしながら，ナットを締付けます。

8 ＝ボデーをおろす

9 ＝ナットを締付ける



写真の順序に，ハブ・ナット・レンチでしっかりと締付けます。

10 ＝ホイール・キャップをはめる

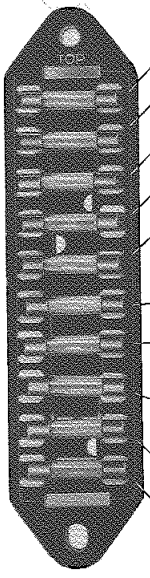
タイヤの空気口を，キャップの穴に合わせキャップをたたいてはめます。

11 ＝タイヤの空気圧を正規にする

12 ＝車輪と工具をかたずける

ヒューズ・ランプ類の交換

■ヒューズ



MAI ・R ……ヘッドランプ高目，右側

MAI ・L ……ヘッドランプ高目，左側

DIM・R ……ヘッドランプ低目，右側

DIM・L ……ヘッドランプ低目，左側

TAIL……テール・ランプ，メータ照明ランプ，ライセンス・プレート・ランプ，スモールランプ

HORN……ホーン，ストップ・ランプ，パーキング・ランプ

LIGHTER‥シガルット・ライター，ルーム・ランプ，インスペクション・ランプ，時計

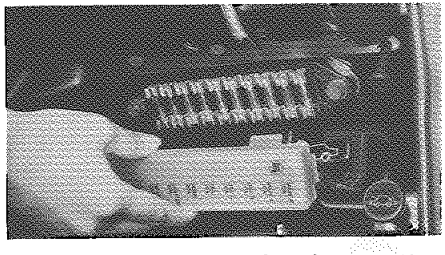
HEATER ‥ヒーター・モーター，バックアップ・ランプ，パーキング・ブレーキ・ランプ，メータ・ゲージ類，チャージ・ウォーニング・ランプ

WIPER ……ワイパー，ウォッシャー

TURN……ターン・シグナル・ランプ

無断複製禁止

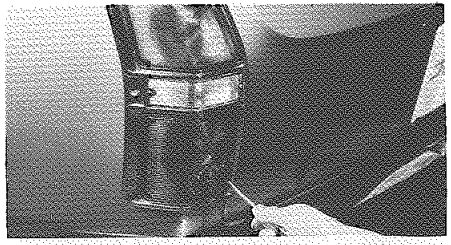
各ヒューズを受持っている電気関係の部分は上図のようになっています。
ヒューズ切れを確認する場合には，1つのヒューズの受持っている電気関係の部分が全部作動するかを見て，全部作動しない場合にはヒューズ切れ，その中の1つだけの場合にはヒューズは切れていません。
例……WIPER ヒューズの点検するとき
1．ワイパーもウォッシャーも作動しない……ヒューズ切れ
2．ワイパーは良いがウォッシャーが作動しない……ヒューズは切れていない。
点検は例のようにして行なってください万一，この方法でだめのときは他に故障がありますからこのときはサービス工場に連絡してください。



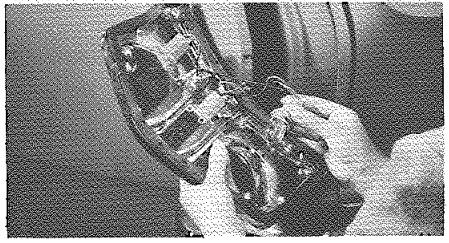
カバーは両端をもって引っぱってはずします。ヒューズはそのまま引っぱればはずれます。
ヒューズは，スペア・ヒューズの中から規定のヒューズを選んでつけます。
もし規定のヒューズの持ち合せがなかったら一時的に他のスペア・ヒューズを使用し，その後規定のヒューズととりかえます。
《注意》
何度もヒューズが切れるときは，大容量のヒューズは決して使用しないで，サービス工場で点検を受けてください。

■ランプ類の点検

ストップ・ランプ



ランプ取付けビスをはずしてランプをはずします。

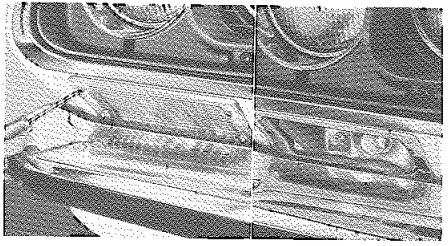


電球を少し押えながら左にまわしてはずします。
電球は12V —23/8Wのダブル・フィラメントです。
23W……ストップ・ランプ

無断複製禁止

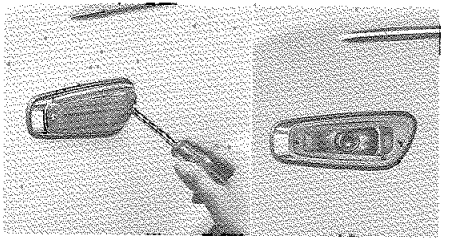
ターン・シグナル・ランプ
8W……テール・ランプ

ターン・シグナル・ランプ



リヤが切れている場合にはストップ・ランプの交換と同様に行なってください。
フロントの場合は⊕ドライバーでビスをはずしてレンズをはずします。
電球は少し押さえながら左にまわしてはずします。
電球は12V－23/8Wのダブル・フィラメントです。
23W……ターン・シグナル・ランプ
8W……スモール・ランプ

サイド・ターン・シグナル・ランプ



⊕ドライバーでビスをはずし，レンズをはずします。電球は少し押さえながら左にまわしてはずします。
電球は12V－8Wです。

バック・アップ・ランプ

交換はストップ・ランプと同様に行ないます。
電球は12V－10Wです。

ヘッドランプ

ランプの交換は焦点調整が必要ですのでサービス工場で行なってください。

テール・ランプ，パーキング・ランプ

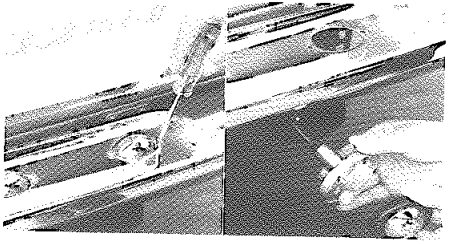
A．パーキング・ランプ

フロント・ターン・シグナル・ランプと同様に行ないます。

B．テール・ランプ

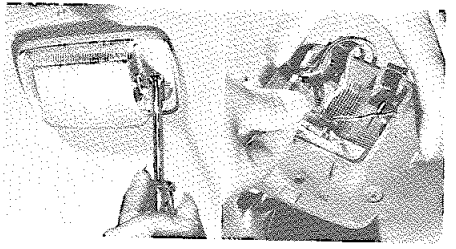
ストップ・ランプと同様に行ないます。

C．ライセンス・プレート・ランプ



ビスをはずして，ランプをはずします。
電球は少し押さえながら左にまわしてはずします。
電球は12V－8Wです。

ルーム・ランプ



スイッチをＯＦＦの位置にしてランプ取

無断複製禁止

付けビスをはずします。
電球は引っぱってはずします。
電球は12V－10Wです。

《注意》

ランプ類が正常に作用しないまま運転することは事故のもとになり，法令にも反しますので，早く修理しましょう。

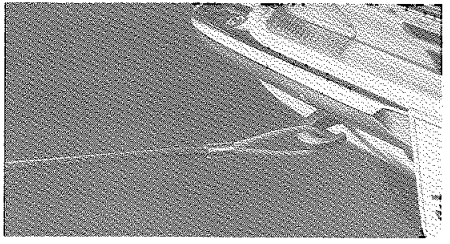
①＝ダブル・フイラメントの電球は方向性があります。電球のポッチの位置にご注意ください。

②＝レンズ取り付の際，ゴムのパッキング位置に注意し，レンズは平均に締め付けます。必要以上に締め過ぎると，レンズが破損することがありますので，ご注意ください。

③＝電球は接触が悪く点灯しないことがあります。一度当たり面をみがいて付け直してみてください。
駄目なときは交換してください。

けん引の方法

1．けん引ロープをかける位置



フロントにロープをかけるときは，写真のようにけん引フックにかけてください。
けん引フック以外にかけないでください。
けん引フックはコロナマークⅡ取扱店にあります。
リヤ側にロープをかけるときは，リーフ・スプリングの後端にかけてください。

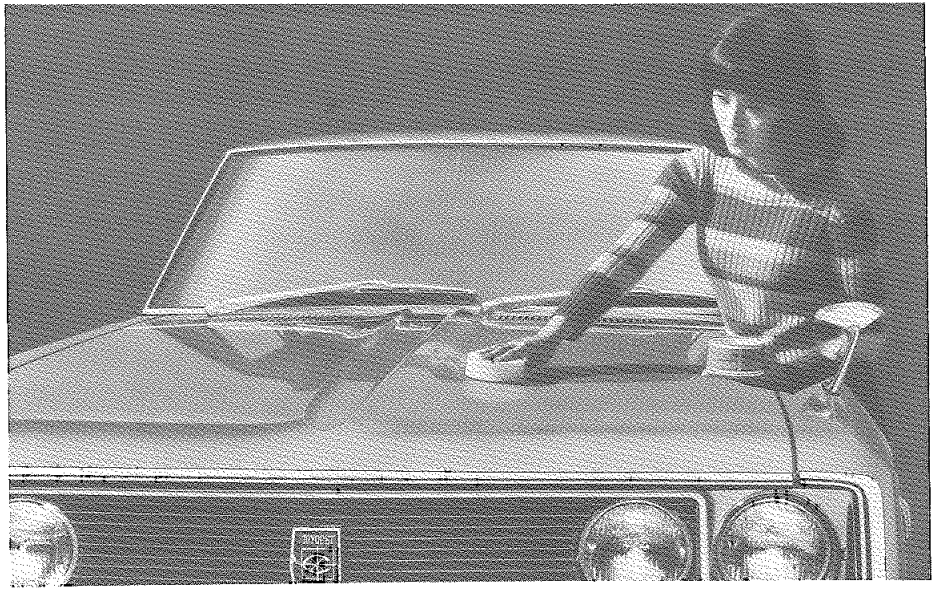
《注意》

車をけん引するときは，全長が25mを越えてはいけません。またロープが短かすぎるとけん引車に追突する恐れがありますので，ロープは5m前後とし，ロープの中ほどには白旗をむすびます。
けん引される車は，常にロープがたるまないように気をつけます。

無断複製禁止

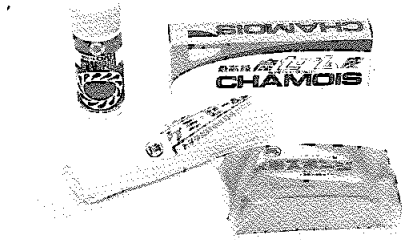
塗装の手入れ

CORONA MARK II VAN・PICK-UP



コロナの外観をいつまでも美しく保つために，塗装の手入れは常に大切なものです。定期的な手入れをすることにより，塗装面の美しい光沢を維持することができますので，正しい塗装の手入れ法をよく理解してください。

洗　車



洗車は適時つぎのように行ないます。

①＝水圧を上げ水をボデーの下まわりにふきつけ付着している泥を落します。特にフェンダー内側は入念に洗いますす

②＝ボデーに充分水をかけながら，スポンジなどでよごれを洗い落します。水量が少ないとほこり，泥によるすり傷がつきますのでご注意ください。しかしドアおよびクォーター・ウインドゥガララス回りを洗うときには水圧を上げ過ぎないでください。

③＝水洗いで落ちにくい汚れは，**トヨタカー・シャンプー液**または中性洗剤を使用するときれいに落ちます。

無断複製禁止

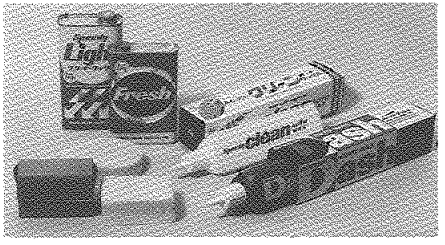
《注意》
洗剤を使用する場合，ボデーは必ず体温以下になってからにしてください。また洗剤が残らないようにしてください。

④＝タイヤに水をかけ，ブラシに石けんなどをつけて洗います。
タイヤがきれいだと，車も一段と美しさが引き立ちますので念入りに洗いましょう。

⑤＝ボデーに残っている水分は，スポンジまたはセーム皮でよくふきとります。
水滴が付いたままにしておきますと，塗装にはん点がついてしまうことがありますので注意してください。

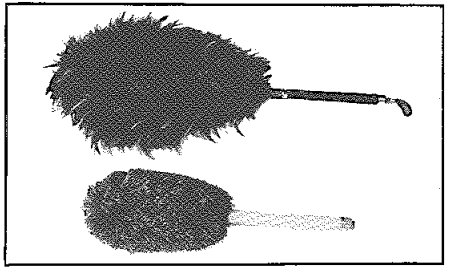
ワックスがけ

ワックスがけは，一カ月に一度，および水をはじかなくなったときに行なってください。塗装の表面にワックス分がなくなると，美しい光沢を失い，塗装の老化を早めます。このため定期的に良質のワックスを塗布して塗装の保護をしてください。塗装の保護には，トヨタ・オートワックスまたはトヨタ・スピーディ・ダッシュのご使用をおすすめします。



トヨタ・スピーディ・ダッシュの使い方は，少しづつ塗りながら仕上げてください。
オート・ワックスの使い方は，ワックスを柔らかい布で，表面の光沢が少しにごる程度にまんべんなく塗布し，ワックスが乾いてから，別の柔かい布でみがきあげてください。
スピーディ・ダッシュは早く仕上げることができますが，オート・ワックスにくらべて，ワックス分が早くなくなります
ホコリがとれにくいときには帯電防止剤入りワックスをおすすめします。
おちにくい水垢，ピッチ，タールなどが付着しているときは，オート・ワックス・クリーナーをおすすめします。

無断複製禁止



《注意》

ボデーのほこりなどは，モッパー，毛ばたきまたは柔らかい布ですり傷をつけないようにとり去ってください。塗装面のよごれは水洗いし，水分はよくふきとってからワックスがけをしてください。

塗装面が熱いときは，車を日陰に移し，体温以下にしてからワックスがけをしてください。

塗装面に異物が付いたままにしておくと塗装面が化学変化しやすく，はん点，変色の原因になりますので，すみやかに塗装の手入れをしてください。

a．ほこりや泥がついたとき

（雨あがり後または雪どけ道などを走行した場合）

洗車およびワックスがけを行なってください。

b．ばい煙，ピッチ，タール，虫または鳥のふんなどが付いたとき

洗車およびワックスがけを行なってください。

c．塩分が付いたとき

（海岸地帯などで海水が付いたとき，または道路凍結防止剤などが散布してあるところを走行した場合）

洗車およびワックスがけを行なってください。特に下まわりは入念に行なってください。

《注意》

塩分による塗装の老化を防ぐため，塩分がとれるまで充分水洗いを行なってください。

無断複製禁止

▒コンパウンドみがき

塗装の外観が極度に悪くなり，光沢，色調が回復しにくい場合は，粒子の細かいコンパウンドを選んで表面を軽くみがきます。この場合，局部的にみがくことはさけてある程度の広さを同一方向にみがいてください。

コンパウンドでみがいたあとは，充分水洗いをし，ワックスにより美しい光沢をとりもどしてください。

《注意》

コンパウンドみがきをひんぱんに行なったり，みがく方法を誤まりますと下地が出てきますので，取扱店または塗装専門店に依頼されることをおすすめします。

無断複製禁止